

学校通信 7 号 摂陽



やさしく かしく すこやかに

～命を大切に、人を大切に、物を大切に～

令和 7 年（2025 年）8 月 28 日

伊丹市立摂陽小学校

校長 門間 祐二

戦後 80 年の夏 生きていることに感謝

みなさんにとって、この夏休みはどんな休みでしたか。今年は戦争が終わって 80 年という節目の夏でした。テレビでは広島・長崎の日だけでなく戦争に関する番組や映画がたくさん放送されました。戦争はおそろしいです。戦争を経験された方から直接話を聞く機会は少なくなっています。あの悲劇を風化させずに、次の世代にも伝えていかなければなりません。核兵器・戦争はなくなったのでしょうか。実は、今もどこかで戦争が起きています。大切な人を失い、苦しみ、生きることに絶望している人もたくさんいます。私は鶉(うずら)野(の)飛行場(加西市)に特攻隊の練習場跡があるということで行ってきました。多くの若者たちが特攻の訓練する場所です。実物大の戦闘機も展示されていました。18 歳～26 歳の少年が特攻隊として 1945 年の春以降に沖縄の海へ沈んでいきました。生きることに真剣に向き合い、家族に感謝の手紙を残していました。最後の言葉は「産んでくれてありがとう」でした。若者が書いた手紙を見つめながら今の時代に生まれたこと、今、自分がいるということは先祖の命がつながっていることや命の尊さを実感し、1 日 1 日を大切に生きていこうと強く思いました。自国のこと、自分のことだけでなく、他国、友だちの考えに寄り添い、思いやりの心で接することができれば、傷つき悲しい思いをする人がいなくなると信じています。今の時代にも戦争が終わっているのに、自ら命を絶つ人もいます。平気で人を傷つける人もいます。SNS の配信や差別に苦しんでいる人がいます。しんどいののがまんする人がいます。しんどい人がいたら「どうしたん？」と聞いてみましょう。自分がしんどいのなら自分の気持ちを伝えてみましょう。ぼちぼちでいいので、前向きで明るい学校生活を送っていきましょう。

ところで、みんなの心の中に 2 羽のかもがいるといわれます。大きな壁に直面したときによく表れます。1 羽目は「できるかも」2 羽目は「できないかも」です。難しいことにぶつかったとき、悩んだときは「できるかも」と考えるようにしましょう。希望をもって、「今生きていること」に感謝し、自分の好きなことを見つけ、自分らしく 2 学期を過ごしていきましょう。夏休み明けは生活のリズムを取り戻すのに時間がかかります。決まった時間に寝る、起きることから始め、生活習慣・学習習慣が定着するようにお願いします。

(始業式 あいさつから)

8 月・9 月の行事予定

28	木	始業式 11:30 下校
29	金	給食開始 13:30 下校
30	土	夏季一斉清掃 8:00～
1	月	13:30 下校
2	火	13:30 下校
8	月	委員会
9	火	秋季遠足 (3・4 年生)
17	水	人権参観日 (5 校時) 講演会 (6 校時)
18	木	防犯訓練
22	月	体育大会係活動
29	月	クラブ

10 月 18 日 (土) 体育大会 20 日 (月) 代休日

全国学習状況調査の結果について

6 年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が 7 月下旬に公開されました。本校の学力調査の結果は国語については全国平均より上回り、算数・理科については全国平均及び県平均を下回る結果となりました。個票は 9 月上旬に 6 年生児童に返却します。

現在調査結果を分析し、学校や学校運営協議会で具体的な取り組みを協議しているところです。後日、学校日より「摂陽」でお伝えします。